

## 2022年度 一般社団法人日本作業行動学会 第3回理事会 議事録

日 時：2022年5月23日（月曜日）18:00～19:00 本会議

2022年5月24日（火曜日）13:00、2022年6月2日（木曜日）8:30 配信後決議

場 所：Zoomを用いたWeb会議。Zoomを用いた会議に出席できなかった理事には、本会議終了後、議案書を篠原事務局長よりメールで配信し、決議した。

参加者：鎌田樹寛理事、石井良和会長、村田和香副会長、小林隆司副会長、篠原和也事務局長、小林法一理事、笹田 哲理事、鹿田将隆理事、鈴木憲雄理事、竹原 敦理事、谷村厚子理事、岩瀬義昭監事

### 審議事項：

#### 1. 総会議案について

→ 異議なく承認された。

#### 2. 2022年度活動報告と決算報告について

→ 異議なく承認された。

#### 3. 2022年度活動計画と予算について

→ 異議なく承認された。

#### 4. 機関誌編集委員会より

##### 1) 論文表彰（研究・事例報告）の推薦について

編集委員の投票により以下に決定することが承認された。

##### 【研究論文】

杉山いずみ氏・他：生活介護事業所における利用者の作業参加～人間作業モデルスクリーニングを用いて～. 25巻2号 p53-61

##### 【事例報告】

鹿田将隆氏・他：作業同一性質問紙の臨床的有用性の検討—地域在住要支援・要介護高齢者の3事例を通して—. 25巻1号 p38-47

##### 2) 編集委員の委嘱と推薦について

編集委員から推薦のあった以下の1名を、本人から承諾が得られた場合、編集協力者とする。

宮寺寛子氏

##### 3) 活動報告

2021年度は18論文の新規投稿があり、25巻1号、2号、3号、4号を発刊したことが承認された。毎号につき機関誌「作業行動研究」を600冊発刊した。

##### 4) 活動予定

- ・投稿数を増やすために、機関誌の投稿規定を（旧）から（新）に改定する。  
（新）投稿者は筆頭のみ本研究会会員とします。著者の数は5名までとし、それを超える場合は、表紙に『著者数超過理由』を表記ください。編集委員長が例外的採否を判断します。
  - （旧）投稿者は原則として全員が本研究会会員とします。著者は5名までとし、それ以外は謝辞に含めるようにしてください。
  - ・初回投稿時に投稿規定を原稿がある程度満たしているかの簡易チェックを行い、満たされていないものは、投稿者に返却、修正を求める手続きを導入する。
  - ・投稿論文の査読、機関誌の発刊、オンライン投稿システムの検討を行う。
- 異議なく承認された。

#### 5. 人間作業モデル認定セラピストについて

2022年2月12日、2022年4月26日に理事会で承認され、第32回総会に認定を受けるのは以下の会員である。

- ・麓 文太氏 （函館脳神経外科病院）
  - ・渡部 雄太氏 （大阪保健医療大学）
  - ・水野 健 （昭和大学附属烏山病院）
- 異議なく承認された。

#### 6. 本年度研究助成について

##### 1) 本年度の申請者

- ・丁子雄希氏：利用者とセラピスト間の意思決定プロセスにおける力の共有関係支援ガイドの開発。
- ・佐々木 剛：作業に関する自己評価・短縮版の信頼性、妥当性の検討および日本語版の検討。

##### 2) 公募期間

総会終了後より2月末を公募期間とする。今年度は、6月20日（月曜日）から2月28日（火曜日）とする。

##### 3) その他

研究助成の公募要領は昨年度と同様とする。

→本年度は、上述した申請者2名の採択が承認された。2)と3)についても、異議なく承認された。

#### 7. 次年度の学術集会

大会長は、川又 寛徳氏とし、福島県立医科大学において開催を計画する。

→異議なく承認された。

## 8. 役員改選

次期役員として、下記の者を候補とする。

石井 良和

岩瀬 義昭 (監事)

鎌田 樹寛

小林 法一

小林 隆司

笹田 哲

鹿田 将隆

篠原 和也

鈴木 憲雄

竹原 敦

谷村 厚子

村田 和香 (五十音順)

→異議なく承認された